

「宗門寺院と戦争・平和問題」調査報告(その2)

新田光子 (戦時被災等調査委員会委員)
戦時調査室調査担当

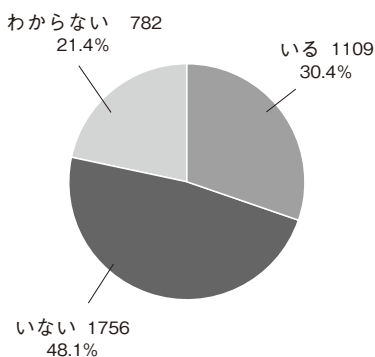
「宗門寺院と戦争・平和問題」調査は、本年4月に全教区の全寺院宛てに郵送させていただいた調査票の回答集計作業を継続しております。

調査票は日本における戦争の歴史を念頭に置いて、5つの時代、すなわちⅠ. 戊辰戦争・西南戦争の時代、Ⅱ. 日清・日露戦争から第一次世界大戦までの時代、Ⅲ. 満州事変から日中戦争の時代、Ⅳ. アジア・太平洋戦争の時代、そしてⅤ. 戦後、の区分でお尋ねしました。前回の『宗報』9月号では本調査の概略と集計の一部を報告いたしました。本号では、調査票全50の設問のうち、「戦後」の時代に該当する設問の回答内訳をとりあげて紹介させていただきます。

「戦後」の時代に該当する質問、18項目と、それに対する回答内訳は、以下のとおりです。

1. 「住職世帯や門徒の方で、シベリア抑留を体験された方がおられますか」(調査票の問33) についての回答

図1 シベリア抑留

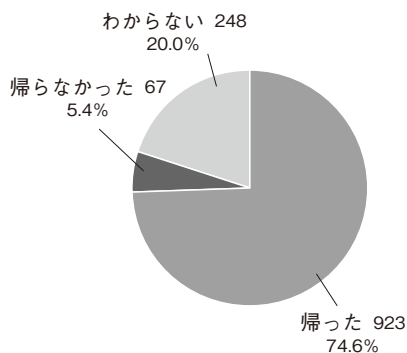


は、次のとおりでした。

2.

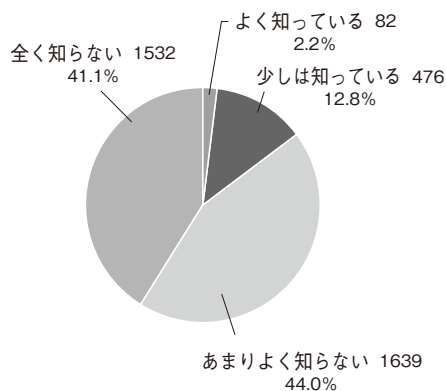
上記「いる」の回答に、「無事お帰りになりましたか」と尋ねたところ、回答は、次のとおりでした。

図2 抑留帰還



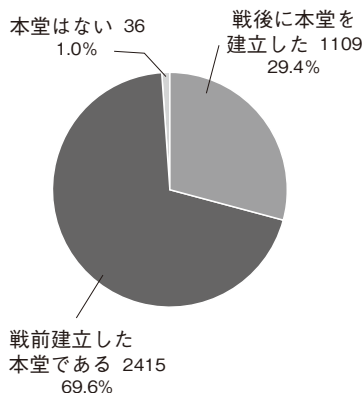
3. 「講和発効後、戦犯裁判受刑者の釈放や留守家族扶助のための運動がおりますが、本願寺教団もこの運動に大いに貢献したといわれています。あなたはそのことをご存知ですか」（問34）についての回答は、次のとおりです。

図3 戦犯裁判運動



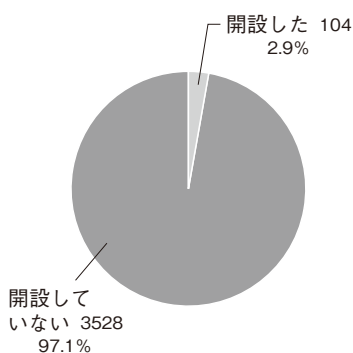
「貴寺院は、戦争によって生じた孤児や保護の必要な高齢者のための施設（孤児養育施設、保育園、高齢者施設など）を開設されましたか」（問35）についての回答は、次のとおり

図5 本堂建立



5.

図4 施設の開設

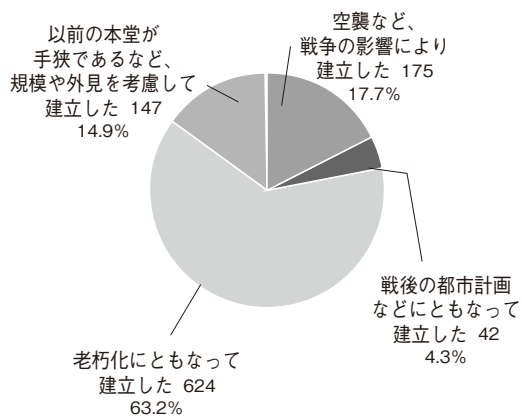


「寺院活動の中心である本堂について、お教えください」（問37）についての回答は、次のとおりです。

です。

7.

図6 本堂建立の経緯・状況



「戦後の復興において、門徒の支えはどのようなものでしたでしょうか」（問38）についての回答は、次のとおりです。

6. 上記「戦後に本堂を建立した」について、さらに「本堂建立の主な経緯・状況について」尋ねると、回答は、次のとおりです。

8. 「戦後日本は、先の大戦の反省から出発しました。本願寺教団も真摯な議論を重ね、大谷本廟戦没者追悼法要、千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要などをおして平和への強い願いを表明してきましたが、平成19年、「宗制」を改正し、戦争協力を促した「消息」を公式に失効させました。この過程について、あなたはどれくらいご存知ですか」（問40）についての回答は、次のとおりです。

図7 門徒の支え

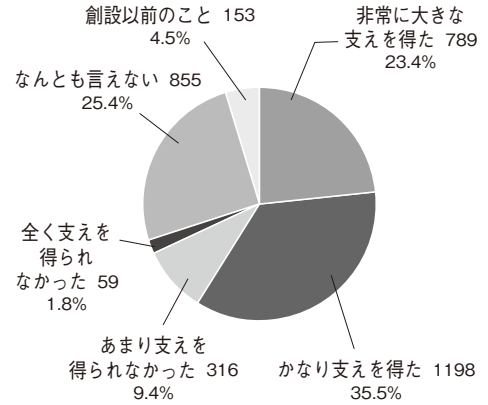
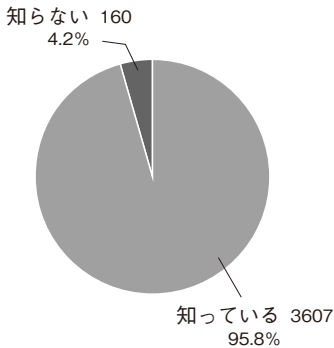
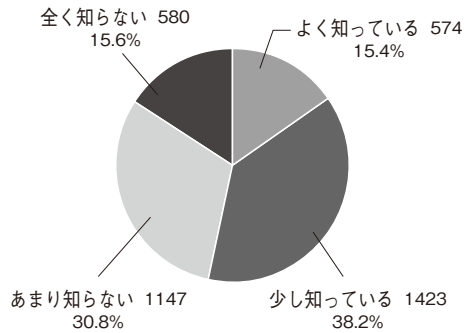


図9 千鳥ヶ淵法要



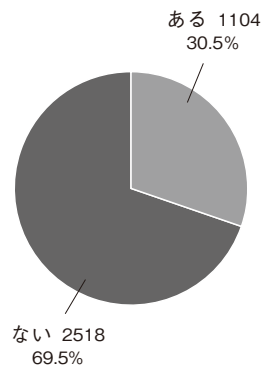
9. 「宗門の千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要（問41）についての回答は、次のとおりです。

図8 戦争協力の消息を失効



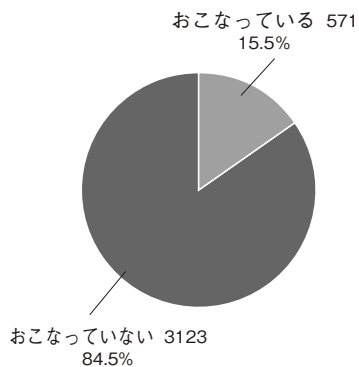
11. 「宗門としては、千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要と同時刻に梵鐘（または喚鐘など）をつくことをお願いしておりますが、貴寺院はいかがですか」（問42）についての回答は、次のとおりです。

図10 千鳥ヶ淵法要参列



10. この間には、さらに「千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要に参列されたことがありますか」と尋ねた。次の回答であった。

図12 戦没者追悼法要



「現在、貴寺院独自に戦没者追悼法要をおこなっておられますか」（問43）についての回答は、次のとおりです。

図11 梵鐘つき

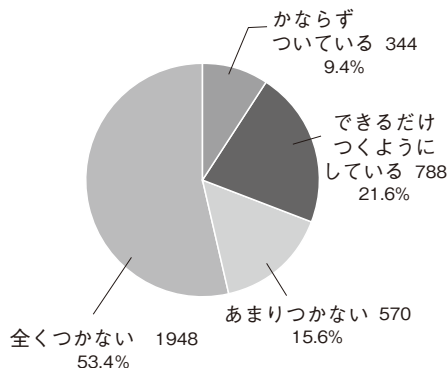
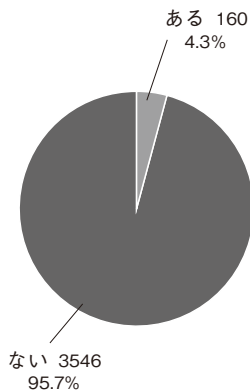
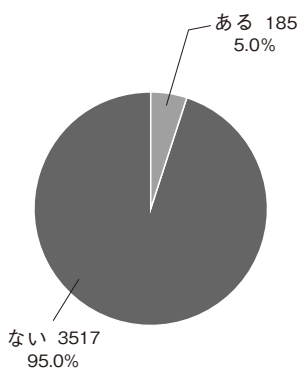


図14 戦没者遺骨



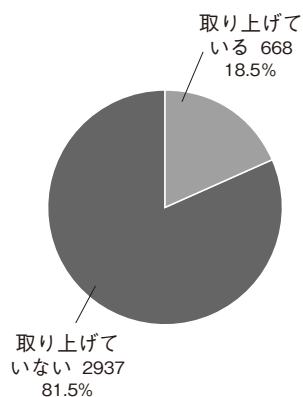
「現在も身元不明である、あるいは引き取り手がなく戦没者の遺骨を預かっておられますか」（問45）についての回答は、次のとおりです。

図13 建立碑



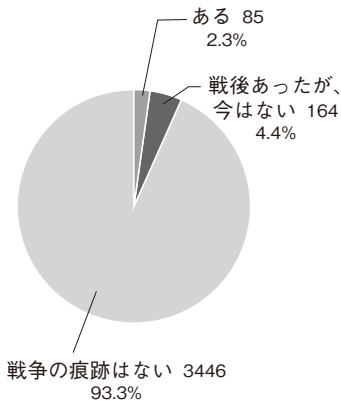
「貴寺院に戦後建立された戦没者慰霊碑、平和祈念碑などがありますか」（問44）についての回答は、次のとおりです。

図16 戦争・平和問題



「貴寺院では、法座や研修会などで、戦争と平和の問題を取り上げることがありますか」（問47）についての回答は、次のとおりです。

図15 戦争痕跡

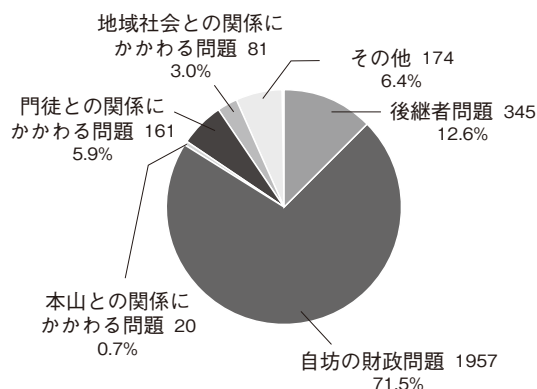


「戦争の痕跡（建物の砲弾の痕、お墓に空襲原爆の傷跡など）がありますか」（問46）についての回答は、次のとおりです。

17.

「戦後の寺院活動や住職世帯の生活で、最も大変だったことは何でしたでしょうか」(問48)についての回答は、次のとおりでした。

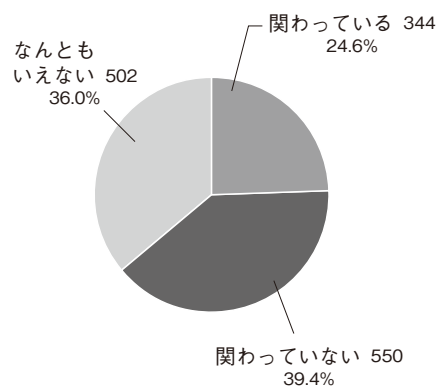
図17 戦後活動



18.

前問については、さらに「それは戦争の影響でしょうか」と尋ねたところ、次のような回答がえられました。

図18 戦争の影響



この調査に関わる各寺院ご所蔵の戦争・平和関係資料(文書、墓碑・記念碑・遺跡などの写真・関係資料)のご提供につきましては、引き続きお願いいたしております。

次年度に資料展覧を予定しておりますので、資料のご提供をぜひお願いいたします。

今回の『宗報』では、「調査報告(その3)―戊辰戦争・西南戦争と寺院―」の掲載を予定しております。

寺院の戦争記憶・記録を次代へ
―ご自坊の記録資料・戦前や戦中の
写真をご提供ください。

ご提供先・お問い合わせ先

【戦時調査室】

開室時間：火・水・木 10時～12時、
13時～16時(宗務所休日は除く)

〒600-8349

京都市下京区堺町92

浄土真宗本願寺派総合研究所内

戦時調査室

TEL/075-354-5087

Fax/075-354-5360

e-mail/senji-chousa@hongwanji.or.jp